

【2年次・前期〔講義〕2単位 必修】生活文化専攻、健康栄養専攻

《目的》キリスト教思想における人間観およびそれに関連付けられる歴史的、社会的問題について学ぶことを通して、人間の尊厳や人生の意義に対する考えを深め、人間らしく豊かに生きるための指針を得る。

《到達目標》1. キリスト教思想に関する基礎知識、教養を習得し、それについて説明できるようになる。
2. 習得した知識、教養を活かして、人生の課題に主体的に取り組めるようになる。

《評価基準》①筆記試験〔筆記〕(80%)
②受講態度(20%)

《テキスト》『聖書—旧約聖書続編つき 新共同訳』（日本聖書協会）

《指定図書》なし。

《履修上の注意》なし。

《授業外学習》予習：指定文献、参考資料を読む。

復習：講義レジュメ(プリント配付)を再読し、理解を深める。

《授業計画》

1. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(1)—正義と法について
2. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(2)—人間の運命と幸福①
3. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(3)—人間の運命と幸福②
4. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(4)—天与の才能を活かすこと
5. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(5)—性の意味とモラル
6. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(6)—結婚の意味と理想
7. 苦しみの意味について①—キリストの受難とその意味
8. 苦しみの意味について②—V. E. フランクル「夜と霧」の人間観から
9. 祈り、宗教儀礼—人間はなぜ祈るのか
10. 死から見る生の哲学（死生学）
11. 命の尊さに関する考察(1)—自然科学が教えること
12. 命の尊さに関する考察(2)—人間の尊厳
13. 諸宗教間の対話—歴史的過ちからの教訓
14. 寛容と多様性に対する理解—グローバリズムの本質的理想
15. 正義、愛、平和を指し示す人間理解

【1年次・前期〔講義〕2単位 選択】全学

《目的》世界や人間に関する真理を探究する手がかりとなる知識を学び、深く物事を考える思考態度や知性を身につける。

《到達目標》1. 基本的な哲学理論・用語について理解し、説明できるようになる。
2. 哲学的に思考する習慣を身につけ、自己の生き方や行動に活かせるようになる。

《評価基準》①研究レポート(80%)
②受講態度(20%)

《テキスト》なし(テーマごとに講義レジュメ、プリント資料を配付する)。

《指定図書》なし。

《履修上の注意》研究レポートを作成するために、自分が選んだテーマに関する3冊以上の本を読むことが求められる。

《授業外学習》予習として指定文献を読む。講義10回目まで、復習として講義レジュメを読み直す。11回目以後、研究レポートの作成を進める。

《授業計画》

1. 知ることの意味—真理とは何か
2. 自然哲学(1)—古代ギリシャ哲学から
3. 自然哲学(2)—ユダヤ・キリスト教思想から
4. 自然哲学(3)—自然および生命の価値と環境論
5. 存在論(1)—プラトンとアリストテレスの思想
6. 存在論(2)—形而上学を学ぶ
7. 認識論(1)—合理主義
8. 認識論(2)—経験論
9. 認識論(3)—観念論
10. 言語哲学(1)—言語と精神の結びつき
11. 言語哲学(2)—言葉の貧しさとコミュニケーションの在り方
12. 哲学的人間論(1)—人間性とは何か
13. 哲学的人間論(2)—人生の意味について
14. 歴史哲学—歴史から何を学ぶのか
15. 研究レポート作成指導